

岐阜県の プラスチック

- ・多治見市で『ものづくり岐阜テクノフェア』開く
└─工業組合も後援、4社8小間に出展参加─┘
- ・名古屋市では『次世代ものづくり基盤技術産業展』開く
- ・射出成形の技能検定合格者は1級18人、2級33人
- ・職業能力開発促進大会で検定委員2人と受検者5人受賞
- ・新年互礼会は1月15日(水)に大垣フォーラムで開催

多治見市で開かれた岐阜テクノフェア会場



多治見で『ものづくり岐阜テクノフェア』開く

新たなビジネスマッチングめざし 異業種企業や産学官出合いの役割果たす

隔年に開催している『ものづくり岐阜テクノフェア』は、11月1日から2日間、多治見市の『セラミックパークMINO』で開かれた。今回のテーマは『今こそ主役―岐阜・日本のものづくり』をテーマに、産学官の連携や企業の新たなビジネスマッチングを展開した。

主催は県内主要産業で構成する岐阜県工業会で、中部経済産業局をはじめ岐阜県など46の自治体・業界団体・研究機関・大学・高専が後援、当工業組合も後援し組合員が出展した。

企業参加は72社、うち東濃20社

会場となった『セラミックパークMINO』は現代陶芸美術館と国際見本市会場が併設された丘陵地の多目的施設。今回のテクノフェアは6回目の開催で、185小間の展示ホールに屋上広場、さらに国際会議場で開かれた講演会やシンポジ



一般参観者も交えて賑わったテクノフェア会場

ウム、このほか多治見開催らしいイベントを交え、ものづくりを発信した。

主会場の展示ホールには、一般企業72社、これを取り囲むように学校関係4校、行政・研究26団体、特別企画16社、富山関連8社の合計126企業・団体が一堂に集まった。

前回の各務原開催は航空機関連業種が多かったが、今回は一般企業72社のうち20社が東濃地域の出展企業で、窯業・セラミックから自動車部品まで幅広い業種が参加した。

セラミックスと金属の複合材料

東濃地域の出展内容を紹介すると「ファインセラミックス構造材料、セラミックスと金属の複合材料などの新機能性材料の展示」「全自動の



部材とモデルを持ち込んだ航空関連産業

焼成炉ローラハースキルン、ロータリキルンの実機展示」「電動アシスト自転車・中津川サイクルの展示試乗」「超高速20万回転のハンドグラインダー実演展示」「小型から大型までアルミダイカスト一貫生産方式の展示」など。

プラスチック関連では「発泡樹脂全自動成形機を開発し、技術と製品を展示」「プラスチックダンボールによる可動式袋型仕切りハンモックの展示」などと、バラエティーに富んでいた。

燃料電池自動車の展示と試乗会

県産業主流の自動車関連産業で人気が集まったのは「燃料電池自動車の展示と試乗会」「超ハイエースハイルーフの展示と生産技術の紹介」「射出成形と同時にメッキ加工まで行う乗用車用ホイールキャップ製造技術」「四輪・二輪用サスペンションと電動パワステの展示」「自動車排ガス浄化関連のセラミック製品」「ブレーキ液などカーケミカル製品」の展示が目を引きいた。

超電導技術確立がリニアを実現

東濃地域は「リニア中央新幹線の建設」にともなう走行ルートと中間駅設置が決まり脚光を浴びている。フェア主催者はこの機を捉え「磁



完成車メーカーのブース。開発製品も展示



中二階から見たテクノフェア会場の一部

気浮上式鉄道と超電導技術」をテーマに特別講演会を開催し、科学の目でリニア技術を紹介、集まった300人余りの人々を感動させた。

招いた講師は鉄道総合技術研究所・浮上式鉄道技術研究部長の長嶋賢さんで「リニアの生い立ちからリニアや超電導技術の歴史、その開発経過と仕組み、完成した超電導技術の応用」にいたるまで分かりやすく説明した。

最後に長嶋さんは「1962年にリニア鉄道の研究を開始、山梨のリニア走行で時速581^{km/h}の超電導技術を確立し建設段階へ入ったが、この技術は東京一名古屋間を40分、東京一大阪間を60分で結ぶばかりが目的ではない」とし、

「今後は一層の超電導部分のコンパクト化・安定化を追求したい。また社会に役立つ応用技術も欠かせない。例えば超電導フライホイールによる蓄電システムへの応用がある」と話した。



地元代表は全自動キルンを持ち込み実演



新開発・新製品を展示

―組合から8小間、4社が出展―

工業組合から出展したのは4社8小間で、独自の技術を基に新開発した新製品を出展した。

《コダマ樹脂工業株》大型ブロー成形技術を活用した110ℓタイプの「ホームダム」と新製品「ハイパーピュアボトル」を出展した。ホームダムは工場や家庭で雨水を利用できるHDPEタンク。ボトルは半導体用高純度薬品容器として開発した次世代容器で、最内層は素材選択を可能にし、中間にバリア層を設けて気体の透過を極限に抑えた5～7層の多層容器を展示した。

《岐阜プラスチック工業株》高強度・超軽量の素材「ハニカムコア材・TECCELL」を出展した。連続成形による生産性の高さと、二次加工性に優れ、コア材として用途を広めている。さらに材質もPPに加え「PC材の新製品を開発し、強度

や機械特性を高めたことで新たな用途を広めたい」と利用を提案していた。

《天龍コンポジット株》強化プラスチックの成形技術を生かした太陽熱温水器を出展した。FRPを主体にした三重構造の製品で、外装はサビに強く冬場の保温や凍結対策も万全という。また取付方法も急角度コレクター方式を採用し「商品化37年の実績をもち経済性と環境性に優れた製品です」とPRしていた。

《カイイングストリーズ株》関鍛冶伝来の技術を生かしたカミソリ、ハサミ、カッターナイフ、キッチンウェアから医療用サージカルにいたる刃物をコアにした生活文化を提案した。出品の中で「刃先のヘッドが自由自在にフィットする女性用カミソリ」また「美しい33層ダマスカス模様ステンレス・クラッド複合材を使用した関孫六銘のプロ仕立て包丁」の新開発製品に観客の目が集まっていた。



天龍コンポジットのFRP製の太陽熱温水器



カイイングストリーズの各種刃物製品

岐阜大学のプロジェクト紹介と開発成果



岐阜高専の産学官連携研究シーズの紹介



産学官連携の促進を図る

「学校や研究機関から30団体参加」

ハイテク産業育成のカギは産学官連携にあるとして、テクノフェア主催者は大学など学校関係、行政・研究団体の参加を呼びかけた。この結果30機関団体が研究業務の成果やシーズを発表、新たなビジネスチャンスへ結びつけた。

《学校関係》岐阜大学は学際領域から実用プロジェクト研究活動を説明し、2小間のブースに6つのプロジェクト研究を紹介した。中でもポリエチレン、ポリウレタン、ナイロンなどの熱可塑性プラスチックをマトリックスに用い、複合材料の炭素繊維強化プラスチック（CFRP）の成形加工技術を紹介した。

創立50年の歴史を重ねる岐阜高専は、東海・北陸8高専の研究シーズをパネル展示した。また近年全校あげて地域ニーズに対応する高専を

目指して取り組んだ研究成果「産学官連携・研究シーズ」（7学科76編）を紹介した。

中日本航空専門学校は「航空宇宙業界への就職者は11,158人で全国一、就職率100%の実績」をアピールし、見学の高校生や子を持つ親に入学を勧めていた。

《行政・研究団体》岐阜県産業技術センターは産学官連携の研究成果として「熱的・機械的に優れたバイオマスプラスチック複合材料」など研究活動の成果を紹介した。

岐阜県工業技術研究所は「CFRPなど難加工材料の機械加工研究」や「ウォータージェット施設新設による3D切断加工研究」を紹介した。

岐阜県情報技術研究所は「映像から作業時間を自動計測する技術」を紹介した。

産学官連携を支援する岐阜県研究開発財団は「地域イノベーションプログラム事業で試作開発」した成果を展示した



岐阜県関係の研究機関が紹介した開発成果



岐阜県研究開発財団の産学官連携の成果

名古屋では『次世代ものづくり基盤技術産業展』開く

3Dプリンタとレーザー加工の可能性探る

中部の製造現場を変える最新技術を集めて内外に発信

『第3回次世代ものづくり基盤技術産業展』が10月9日から2日間、名古屋港のポートメッセなごやで開かれた。名古屋国際見本市委員会が主催、経済産業省はじめ46機関・団体が後援・協賛し、203企業・団体が261小間のマンモス展示場に集まった。

テーマは『次世代自動車・航空機などに活かすものづくり』で、軽量化、電動化、効率化技術に加えてレーザー加工や3Dプリンタによる三次元造形の新加工技術を発信した。

ものづくり考える3日間…を演出

ポートメッセの展示会は「航空宇宙シンポジウム」「次世代モビリティフォーラム」「中部経済産業局サポインコーナー」に加え、ものづくりに特化した技術講演会・セミナー29会場、この他に学術研究技術シーズ発表会9テーマを同時に開催し「ものづくりを考える3日間」を演出した。

会場で大勢を占めたのは、やはり地元産業と密接な自動車関連に加えて航空機やロケットなど航空宇宙関連産業のブース。この地域は先にわが国の「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」に指

定されたこともあって出展企業38社が、部品製造から設計開発、航行管理までアピールした。

3Dプリンタブースに関心集まる

今回の産業展で来場者の関心を呼んでいたのは、新たな加工法として登場している「レーザ



自動車、航空機、ロケット関連産業が一堂に集まり「ものづくりを考えた3日間」を演出

ー加工技術」と「3Dプリンタ」のブース。

中でも3Dプリンタは、三次元データをもとに樹脂や金属の粉末などの材料を積層・造形する新成形技術で、7社が展示していた。見どころだったのは小型機種では「物性の違う材料を同時に造形できる機種」「ABS樹脂を使用して手軽にモデルを造形する熱溶解積層方式」「シリコンゴム型を用いた熱可塑性樹脂の実モデルを成形する卓上機」「パーツやフィギュアの造形に適したデスクトップタイプの機種」。

さらに「データ入力を接触せずにスキャンし、計測と同時にカラー画像を取得できるハンディスキャナー」や「ABS樹脂を使い造形できる19万円の低価格プリンタ」も出ていた。

技術講演やセミナーも盛んに開く

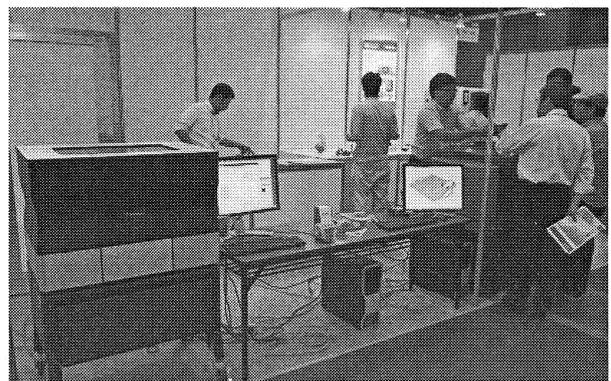
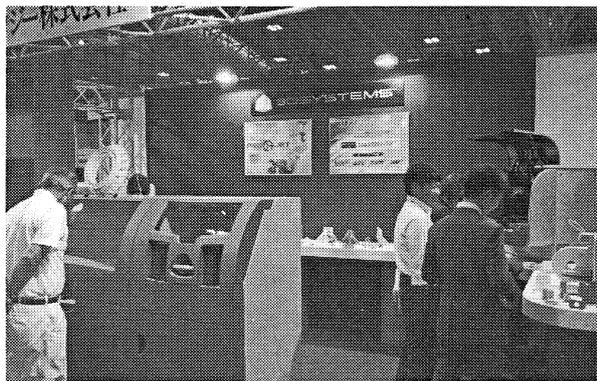
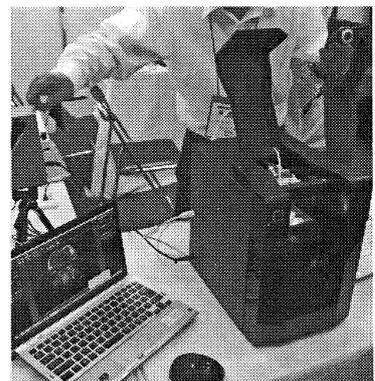
大型3Dプリンタでは「試作から最終製品まで造形可能な粉末（金属、樹脂、砂）積層造形機」「コストパフォーマンスの高い本格的な造形

機」を展示していた。各社とも造形機の仕組みに加え、三次元データを処理する機器やスキャナーの説明にも力を入れていた。

実演を見学していた人は「三次元データの作成が難しそうだ」「試作にはよいが、量産に向かないので活用に限りがある」「説明では低価額というが、メンテナンスに不安がある」と話しながらも、来場者の多くは「ものづくりのスタイルを変えていくだろう」と認めていた。

3Dプリンタの活用と疑問に答え、商社・代理店は技術講演会やセミナーで長所を売り込んでいた。内容は「ものづくりの変革を迫る3Dプリンタ」「造形方法と製品ラインナップと導入事例」「電子ビーム3D積層造形技術の基礎と応用」という機器説明から「元気な中部メーカーズ集まれ…3DプリンタやSNSについて話そう」というテーマに討論会まで開き、関心を集めた。

（次世代ものづくり基盤技術産業展の
出展カタログは工業組合事務局へ）



関心を集めた3Dプリンタの各展示小間。上はデスクトップの小型機、下は本格的な大型機

射出成形の検定合格者は 1 級18人 2 級33人

25年度前期技能検定・合格率は 1 級36.0%、2 級36.3%

平成25年度前期技能検定『プラスチック射出成形作業』の合格者発表があり1級18人、2級33人が合格した。近年の射出成形技能検定は、受検者は多いものの合格者数は低迷していた。今年度は前年度の1級20人、2級28人をさらに上回り、平成19年度に記録した1級23人、2級39人に次ぐ技能士誕生となった。

今年度の1級合格率は36.0%、2級合格率は36.3%で、相対的に1級は前年の好成績よりややダウンし、2級は前年をややアップした。

次は組合員企業の技能士になったみなさん。

《1 級技能士》

小林 征春 (岐阜プラスチック工業(株))
重田 博幸 (岐阜プラスチック工業(株))
荒木 武徳 (岐阜プラスチック工業(株))
長澤 学 (岐阜プラスチック工業(株))
片桐 吉則 (岐阜プラスチック工業(株))
堀 友行 (岐阜プラスチック工業(株))
下嶋 一輝 (ムトー精工(株))
上田 満 (ムトー精工(株))
松浪 博明 (岐阜プラスチック工業(株))
加藤 秀和 (未来工業(株))
田中 大 (ムトー精工(株))
山岡 信也 (岐阜プラスチック工業(株))
加藤 正幸 (岐阜プラスチック工業(株))
伊藤 圭介 (岐阜プラスチック工業(株))
野田 一彦 (株)カテックスエンジニアリング)
岩崎 竜一 (株)フクシマ化学)

《2 級技能士》

野口 純平 (岐阜プラスチック工業(株))
安藤 貴志 (岐阜プラスチック工業(株))
板垣 信宏 (岐阜プラスチック工業(株))
伊藤 大宜 (岐阜プラスチック工業(株))

鈴木 健大 (岐阜プラスチック工業(株))
足立 優輔 (岐阜プラスチック工業(株))
竹中 賢哉 (ムトー精工(株))
保母 淳平 (恵那愛知電機(株))
田中 洋行 (岐阜プラスチック工業(株))
吉田 光 (岐阜プラスチック工業(株))
山田 始 (岐阜プラスチック工業(株))
神山 智彦 (岐阜プラスチック工業(株))
酒井 誠司 (岐阜プラスチック工業(株))
加納 岳士 (株)フクシマ化学)
館林 勝則 (恵那愛知電機(株))
小島 信一 (メルコファンプロダクツ(株))
斎藤 勝也 (岐阜プラスチック工業(株))
林 聖太 (ムトー精工(株))
平工 敏弘 (岐阜プラスチック工業(株))
鷲見壮一郎 (ムトー精工(株))
深尾 広徳 (ムトー精工(株))
松久 幸司 (アバンステクノ(株))
廣瀬 清隆 (メルコファンプロダクツ(株))

新春にブロー成形の検定

後期技能検定・金型製作は実施せず

後期技能検定のプラスチック成形ブロー成形の実技検定は新年1～2月に実施される。

会場は神戸町にあるコダマ樹脂工業(株)本社工場、1級3人、2級3人が受検する。

プラスチック成形用金型製作は見送られた。

平成25年度の工業統計調査実施

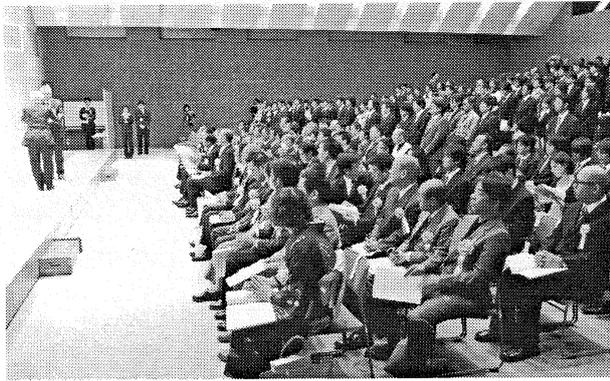
経済産業省は平成25年12月31日現在で「平成25年度工業統計調査」を実施する。統計法による報告義務のある重要な統計調査で、調査結果は施策や地域振興などの基礎資料となる。

職業能力開発促進大会開く

「検定委員2人、検定受検者5人が受賞」

岐阜県と県職業能力開発協会が共催した『岐阜県職業能力開発促進大会』が11月19日大垣市情報工房スィンクホールで開かれた。職業訓練や技能検定関係者が一堂に集まり、県知事表彰66人、協会長表彰148人を表彰した。続いてプロバットマイスター久保田五十一さんが「わたしを支えた木と人々」をテーマに講演した。

工業組合関係の表彰は検定委員2人、検定受検者5人で、次は受賞したみなさん。



大会で知事表彰、協会長表彰を受賞した人々

《協会長表彰・技能検定功労》

◇大橋 一弘 (ムネカタ(株))

◇栗田 英明 (未来工業(株))

《協会長表彰・技能検定成績優秀》

◇プラスチック成形特級

渡辺 信幸 (岐阜プラスチック工業(株))

◇プラスチック成形ブロー成形作業1級

橋本 佳樹 (コダマ樹脂工業(株))

◇プラスチック成形用金型製作2級

渡邊 明臣 (ムトー精工(株))

◇プラスチック成形射出成形作業1級

片桐 吉則 (岐阜プラスチック工業(株))

◇プラスチック成形射出成形作業2級

野口 純平 (岐阜プラスチック工業(株))

表彰式後の記念講演で久保田さんは「バットづくり54年、最初は角材づくりばかりだったが、このとき青ダモの生育環境を見つめ、木を見る基礎ができた。バット作りに入ってから落合さんはじめイチロー選手や松井選手と出会い、使う人の身になって研究してきた。70歳を迎えて今は後継者づくりに励んでいる」と話した。

県最低賃金は724円

—11円上昇し、10月1日から適用—

岐阜県の最低賃金は10月1日から時間給724円が適用された。前年度の713円より11円上昇し、県内すべての労働者に適用された。最低賃金の対象になるのは、通常の所定内賃金に限られ、ボーナス等臨時の賃金、休日・時間外などの割増賃金及び通勤手当(交通費)家族手当、精勤皆勤手当は対象にならない。

全国平均764円、愛知は22円上昇

新しく適用になった岐阜県の最低賃金は北陸3県に比べて高いが、東海4県下では低い。プ

ラスチック成形加工業の多い愛知県では22円上昇し780円に、静岡県は14円上昇し749円になった。三重県は13円上昇し737円の適用となり、いずれも岐阜県をかなり上回っている。

全国最賃改定額は前年度より11円から22円上昇し、全国平均は前年度より15円高い764円になった。上昇額の最高は愛知県の22円、最低の11円上昇は岐阜県はじめ22県だった。

従業員の子育て支援企業登録制度

岐阜県は『岐阜県子育て支援企業』を募集している。従業員の仕事と子育て支援に取り組む従業員100人以下の中小企業の登録制度。

詳細は県環境生活部少子化対策課まで。

中部4県の業界団体懇談会開く

業界活動や課題で懇談

富山市で工場視察後に情報交換

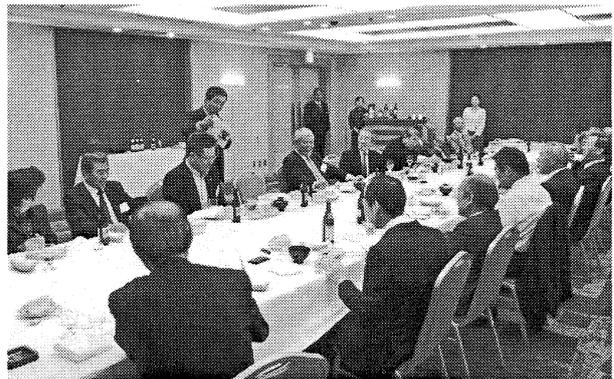
中部4県のプラスチック成形加工団体は11月8日富山市で『中部地区業界団体懇談会』を開催した。参加団体は中部日本プラスチック製品工業協会、愛知県プラスチック成形工業組合、石川県プラスチック成型加工工業協同組合、岐阜県プラスチック工業組合、富山県プラスチック工業会の5団体から22人が参加、当工業組合からは児玉栄一理事長と日比勝次、杉山元彦両副理事長の三人が出席した。

懇談に先立ち富山市内にある富山県を代表する企業、(株)不二越富山本社工場を見学した。不二越はNACHIの名で知られる切削工具のパイオニアで、見学はマシニング、ロボットやベアリングなど機械部品事業を主とする製造ラインを

見学した後、製品展示場で説明を受けた。

懇談会は富山第一ホテルで『富山県におけるものづくり振興施策』を聞いた後、各団体から技能検定や人材養成等について情報交換した。

検定関連では富山から「押出成形技能検定の実施に取り組む」愛知からは「技能検定の合格率が低いので、対策に取り組む」岐阜は「検定の射出成形機の新規更新とブロー成形機の新設を要望している」などと現況説明があった。



中部4県のプラスチック業界5団体の懇談会

成形の基礎から加工まで

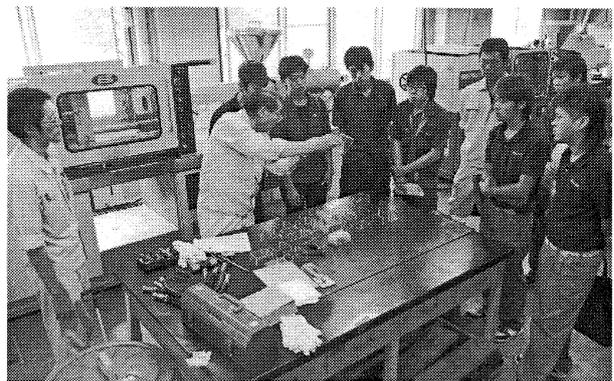
新入社員対象の初任者研修会終わる

工業組合が県産業技術センターで実施した『プラスチック射出成形初任者研修会』は10月10日の全体研修、11日から4日間の成形実技研修で終了した。研修会参加者は前年度より2人多い8人で、3時間の知識講習、3時間のグループ別実技講習、1日の個別実技研修を行った。

「次は検定に挑戦したい」アンケート結果

研修後のアンケートによると、事業内容では「基本や安全操作の仕方が判り、基礎知識をほぼ理解できた」「成形条件の設定方法を細かく教わった」「予備知識があまり無い状態で参加したが、研修で基本知識が得られた」「知識講習は短時間ながら必要な情報が得られた」など。

また会社との違いでは「材料特性を理解して



初任者研修会で実技講習を受けた8人

成形することの重要さが判り、会社の作業に活用したい」「企業の現場では教えてもらえなかった説明を聞くことができた。とくにダメな理由、いけないという理由がよく判った」「実技は会社へ帰って即使用できそうだ」「研修で得た知識を会社の作業に活かしていく」など。

中には「自信が付いたので次は検定に挑戦したい」という研修生の感想もあった。

—新年互礼会は1月15日(水)大垣フォーラムホテルで—
金型工業組合と共催し交流促進
—講演会は岐阜経済大学の竹内治彦副学長—



竹内教授

工業組合は新年1月15日(水)に大垣市万石の大垣フォーラムホテルで『新年互礼会』を開催する。今回も岐阜県金型工業組合と共催し、成形加工業界と金型加工業界が交流し相互の発展をめざすことにした。

互礼会は午後4時30分からの講演会で開始する。講師は岐阜経済大学副学長の竹内治彦教授で『グローバル化のもとの賃金問題』(仮題)について話してもらう。

互礼会は午後6時からで当工業組合側は児玉栄一理事長はじめ組合員、また金型工業

組合からは黒田隆理事長

ら組合員が参加する。席上、岐阜県はじめ関係する官公庁・団体の代表や両組合の賛助会員を招く予定でいる。

講師の竹内教授は社会学修士で、大学では人材育成論、社会学、キャリア形成科目を担当され、研究テーマは産業社会学や労使関係とし、これまで『少子化の状況と地域的対応』などの研究業績や『西美濃地域・広域交流産業戦略の具現化に係わる地域経済』などの受託研究がある。

オンダ製作所の浴槽用循環口
—岐阜県発明くふう展で理事長賞贈る—

『岐阜県発明くふう展』が10月25日から4日間、岐阜市正木のマーサ21で開かれた。県発明協会などが主催、工業組合も協賛し、会社の部15点、一般の部28点、児童・生徒の作品197点に加えて商標、社標などの出品があった。

審査の結果各賞が贈られ、組合員企業のカイインダストリーズ(株)の『ヘッドが自在に動く女

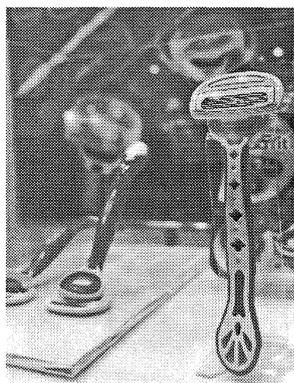
性用カミソリ』に県紙業連合会会長賞、(株)オンダ製作所の『浴槽用循環口』には当工業組合理事長賞を贈った。女性用カミソリはどんな凹凸にも反応するホルダーと斬新なデザイン。浴槽用循環口は温湯と冷湯を熱交換する循環口で、樹脂を一体成形し簡単構成を実現している。

—**滋賀県の草津と彦根**—

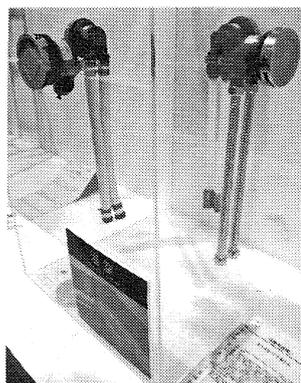
—12月6日(金)に工場視察研修—

工業組合は12月6日(金)団体バスによる企業視察研修会を実施する。視察先は滋賀県草津にあるアプライアンス社と彦根にある(株)ブリジストン工場、同日午前7時45分(時間厳守)に岐阜産業会館を出発する。

アプライアンス社はパナソニック(株)の新社内分社で、各種家電製品の環境革新部門を担当している。ブリジストン彦根工場は乗用車や小型トラック用ラジアルタイヤを生産、中部・関西の自動車メーカーの新車向けに供給している。

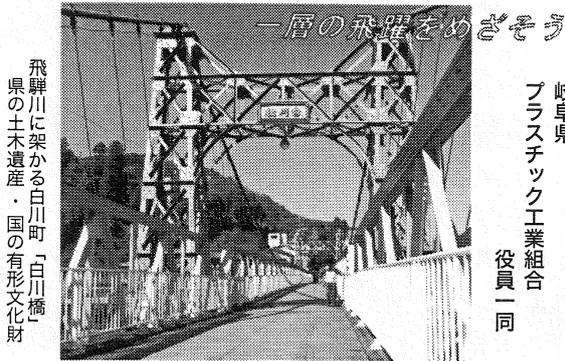


女性用カミソリ



浴槽用循環口

組合は創立45周年を迎えました



飛騨川に架かる白川町「白川橋」
県の土木遺産・国の有形文化財

一層の飛躍をめざそう

岐阜県
プラスチック工業組合
役員一同



コダマ樹脂工業株式会社

代表取締役社長 児玉栄一

本社 岐阜県安八郡神戸町末守 377 の1
電話 <0584> 27-4141
支店 東京、大阪
営業所 本社
工場 本社、横井、熊本、栃木、池田

ポリエチレンチューブ
農業用ポリエチレンフィルム



株式会社 東海ポリエチ工業所

代表取締役社長 大野 實

本社工場 岐阜県羽島郡岐南町野中7丁目129番地 〒501-6004
TEL (058) 246-1313 番(代)
FAX (058) 247-2411 番
名古屋営業所 名古屋市西區城西5丁目5番4号 〒451-0031
TEL (052) 521-9296 番(代)
FAX (052) 532-1664 番
浜松事業所 浜松市西區人野町6056 〒432-8061
TEL (053) 447-2511 番(代)
FAX (053) 447-4248 番

業務用食器一式・製造卸・治工具金型設計製作



大垣プラスチック工業株式会社

代表取締役

日比勝次

本社工場 大垣市大島町2丁目394番地
〒503-0001 ☎(0584)81-1347代
精工部 ☎(0584)75-0333代
FAX (0584)81-1350
E-mail : ogaki-pla@okbnet.ne.jp



代表取締役
杉山元彦

各種プラスチック真空成型加工

パール化成株式会社

本社・工場 〒501-0473 岐阜県本巣市温井 243-3
TEL (058) 324-9155(代) FAX (058) 324-6221
岐阜工場 〒500-8256 岐阜市八坂町4.0番地の1
TEL (058) 271-0861(代) FAX (058) 275-0970
E-mail info@pearl-kaseihin.co.jp
URL http://www.pearl-kaseihin.co.jp/



アテナ工業株式会社

代表取締役社長 下野泰輔

■本社・工場 岐阜県関市下有知5601番地の1
TEL (0575) 24-2424 (代表)
〒501-3217 FAX (0575) 24-0567
URL: http://www.athena-kogyo.co.jp

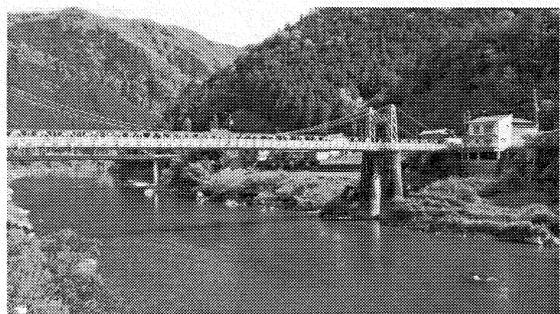


株式会社川瀬樹脂工業

エンジニアリング
プラスチック成形加工

代表取締役社長 川瀬忠雄

〒503-0011 岐阜県大垣市曾根町1丁目686番地
TEL (0584) 27-2566 FAX (0584) 27-5956
E-mail: t-kawase@sunthree.co.jp URL: http://www.sunthree.co.jp



白川町は飛水峡の入り口の町。赤川、黒川の清流を集めて白川となり、飛騨川へ合流する。白川橋は大正の末、高山線の白川口駅開業に合わせ架橋された。わが国二番目に古い鋼鉄製吊り橋である。



● 成形事業部
● ギフト事業部
● キャスター事業部

代表取締役社長
林 敬一郎

岐阜産研工業株式会社
岐阜県揖斐郡大野町公郷 1403 番地

リスのプラスチック

岐阜プラスチック工業株式会社

代表取締役社長 大松 利幸

本社 岐阜市神田町9丁目27番地(大岐阜ビル12階)
〒500-8721 ☎ <058> 265-2231(代)

生産本部 各務原市前渡東町4丁目222番地
〒504-8702 ☎ <058> 386-9311(代)



関プラスチック工業株式会社
プラスチック製品成形加工・プラスチック精密金型設計製作

代表取締役
洞 田 禮 彰

〒501-3904 岐阜県関市明生町2-7-10
TEL <0575> 22-4352(代)
FAX <0575> 24-5131
E-mail : office@sekipla.co.jp

ポリエステル、ナイロンをリサイクルする
タナジン®(ナイロン樹脂)
サイクリーン® アラフノン® ポビン資材回収



高安株式会社

代表取締役社長 高安 義英
<http://www.takayasu-rf.co.jp>

本社 〒504-0828 各務原市蘇原村雨町3-47 ☎ 058-382-2231
坂祝工場 〒505-0071 加茂郡坂祝町黒岩1516 ☎ 0574-26-4171

独創技術で複合材の明日を拓きます



天龍コンポジット株式会社

代表取締役社長 大竹 正泰

〒509-0304
岐阜県加茂郡川辺町中川辺1430番地1
TEL 0574-53-2351
FAX 0574-53-2354



NISSEKI CO.,LTD

プラスチック原料の着色加工

株式会社 **ニッセキ**

代表取締役社長
石原良美

■本社工場 〒503-0653
海津市海津町内記 194
TEL (0584) 53-0238
FAX (0584) 53-0359
nskkaizu@octn.jp

hachiman-kasei co.ltd.



plastic products

代表取締役社長
高 垣 美代子



八幡化成株式会社

本社・工場: 〒501-4204 岐阜県郡上市八幡町旭192番地
TEL <0575> 67-1175(代) TEL <0575> 67-1190
FAX <0575> 65-5150

福岡OFFICE: 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東
2丁目9番13号東福ビル4F
TEL <092> 483-1514 FAX <092> 483-1808

takagaki-m@hachimankasei.co.jp
<http://www.hachimankasei.co.jp>



株式会社 **武藤化成工業所**

代表取締役 **武藤 幸平**

本社 〒501-2605 岐阜県関市武芸川町跡部781
TEL <0575> 46-3711 FAX <0575> 46-2285

第2工場 〒501-2605 岐阜県関市武芸川町跡部972
TEL・FAX <0575> 46-2720



ムト-精工株式会社

代表取締役 田中 肇

本社工場 〒509-0147 岐阜県各務原市鷺沼川崎町1-60-1

TEL(058)371-1100(代) FAX(058)371-2593

岐阜工場 〒509-0147 岐阜県各務原市鷺沼川崎町1-93

TEL(058)383-8311(代) FAX(058)383-1516



TOKAIKASEI Inc.

代表取締役 兼
CEO

宇野 兼史

豊田東海化成工業所

本 社 〒501-2101 岐阜県山県市大桑4370
TEL(0581)27-2111 FAX(0581)27-2915

○水尾工場 〒501-2101 岐阜県山県市大桑310-1
TEL(0581)22-3302 FAX(0581)22-1288

URL : www.tokaikasei.co.jp E-mail : kenjiuno@tokaikasei.co.jp
携帯電話 090-9124-6518



プラスチック原料製造販売
委託加工及びカラーリング

美濃化学工業株式会社

代表取締役 吉田 健司

〒501-3763

岐阜県美濃市極楽寺 1 4 5 1 - 1

TEL(0575)33-1888 FAX(0575)33-1618

E-mail : mk1451@ceres.ocn.ne.jp

岐阜県のプラスチック 2013年 第214号

平成25年12月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号
(岐阜産業会館4階)

電話(058) 272-7173

FAX(058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 岩津 文子

全てのニーズにお応えするJPP
技術力で信頼にお応えするJPP

Excellent Polypropylene

日本ポリプロ株式会社は、全てのお客様の信頼に広範かつ高度な技術力で適確にお応えしてまいります。

ノバテック®PP

卓越した材料設計技術で広範な応用分野のニーズ
にお応えするポリプロピレン

ウィンテック®

独自のメタロセン触媒技術によって開発された
新世代ポリプロピレン

ニューゴン®

当社独自の気相重合法によって制御された特異的な
固体構造を有する新規ポリオレフィン系リアクターTPO

ニューストレン®

高い熔融張力を有し、大型ブロー、肉厚シート成形、
異形押出成形が可能な高機能ポリプロピレン

ニューフォーマー®

高い熔融張力と歪み硬化性を有する発泡成形用
ポリプロピレン

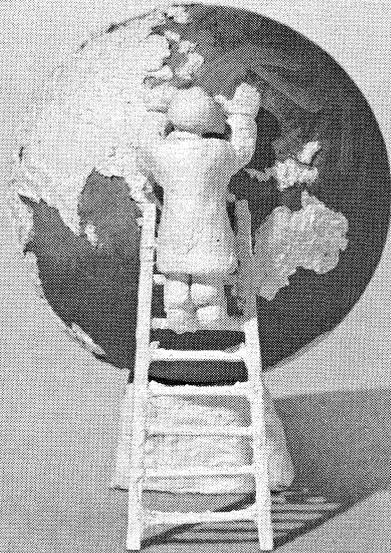
ファンクスター®

射出及び溶融圧縮成形向け高性能ガラス繊維
強化ポリプロピレン

PP 日本ポリプロ株式会社

〒108-0014 東京都港区芝4丁目14番1号 TEL03-6414-4500

地球快適化研究所。



20世紀から持ち越されたさまざまな問題を解決し、トータルなライフステージを快適化するのが21世紀の化学の仕事です。三菱化学グループは、世界でも比類のない幅広い技術フィールドをカバーする先端技術多面体です。先端機能材料やナノテクノロジー、有機エレクトロニクス、デバイス。ヒューマン・ヘルスケアでは、ゲノム創薬やタンパク質機能解析…など、多数の分野にチャレンジしています。私たちはグループの技術力をベースに、社会のニーズに応えるソリューションを提供しながら、21世紀の夢をスピーディに実現します。

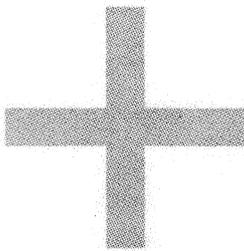
三菱化学株式会社
Telephone:03-6414-3000
URL:http://www.m-kagaku.co.jp

ShinEtsu

信越シリコーン

またひとつ、新機能。

【プラスアルファ】



ヒラメキを糧に新たな機能をプラス

信越シリコーン

「こんな素材があったらいいのに!」「こんな機能をプラスできれば!」…そんないくつかのヒラメキに出会い、信越シリコーンはこれまでとは違う個性を持つ、新しい機能を付与した高機能シリコーン製品を開発してきました。これからも、さまざまなご要望にお応えし、お客様の製品に+αの付加価値をつけるシリコーンを提供してまいります。

【新しい機能で製品に付加価値をプラスするシリコーン】

■ 樹脂改質用シリコーン

オイル、パウダー、シランカップリング剤、レジンなど。樹脂に潤滑性・耐摩耗性、耐衝撃性・難燃性・成形性などの付与に
*取り扱いが容易で分散性に優れたシリコーンマスターバレットもあります。

■ シリコーン離型剤

オイル、ペースト、エマルジョン、スプレーなど。
離型性はもちろん、つや出し、表面保護、潤滑性向上などに

■ シランカップリング剤

合成樹脂、塗料、接着剤などの機能向上に

■ シラン

セラミックスの合成、無機物質の表面改質、樹脂改質などに

信越化学工業株式会社

〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4-5-28 近鉄新名古屋ビル
名古屋支店 シリコーン部 (052)581-6515

雨水利用タンク

ホームダム

RWT-250

ご家庭で雨水の有効利用に!

異常気象からの水不足、あるいは集中豪雨…。水の大切さを見直す時が来ていると思います。自然のめぐみ雨水をもっと活かして使うことを考えましょう!!庭の草・花・木への水やり、洗車などまだまだたくさん活用出来ます。



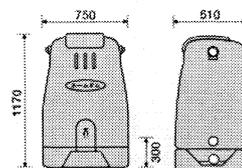
1 専用付属部品で簡単施工
(丸型トイレ用 55%・60%・75%)

2 ドレン付で簡単清掃

3 架台付きです
(別架台はオプション)

4 水道料金の節約
(例) 某市で料金200円/m³を納めているご家庭では、
・ホームダム1杯(250ℓ)約50円
・週に2杯溜めると約400円/月
・年間では約4,800円
が節約出来ます。

5 雨水タンク転倒防止用
Uボート金具付です



■製品仕様

容量	250ℓ
重量	約22kg
材質	超高分子量ポリエチレン



コダマ樹脂工業株式会社

本社 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守 377-1 TEL(0584)27-4141 東京支店 〒104-0031 東京都中央区京橋1-16-10(オークビル京橋) TEL(03)3564-5266
本社営業部
容器包材G 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守 377-1 TEL(0584)27-4992 大阪支店 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2丁目5番2号(新サンケイビル7階) TEL(06)6341-0015
産業資材G 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守 377-1 TEL(0584)27-5055